

## 事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 26年3月20日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	住宅支援給付等特別対策事業			コード	64414
2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	社会福祉課	作成者 小原 俊也
3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政策	福祉の充実	施策	社会保障の円滑な運営
		予算科目	住宅支援給付等特別対策事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事业）	国県補助	あり
		根拠法令	岡谷市住宅支援給付等特別対策事業実施要綱（住宅支援給付等特別対策事業実施要領）		

## ●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	離職者で就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失する恐れのある者に対して住宅支援給付金の支給、住宅確保支援員による就労支援等を行う		
目的	対象者	生活困窮者	
	意図	生活困窮者の生活安定と就労支援による自立	

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	○住宅支援給付等特別対策事業の実施、相談員による支援 ・住宅確保就労支援員 週5日（月～金曜日） ・住宅支援給付金の支給、相談 相談件数 14件 新規世帯数 8世帯 住宅支援等給付金 598,130円		
前年度の課題への対応	住宅支援給付金の対象者に対して、自立のための就労支援を行っているが、対象者が高齢であることや精神的な病気（うつ病）の方が多いため、就職に就くことがなかなか困難である		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）				[単位：円]
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)	
① 直接事業費	4,963,267	4,395,247	4,441,514	7,032,000	
経常経費	4,963,267	4,395,247	4,441,514	7,032,000	
臨時的経費	0	0	0	0	
* 臨時的経費の説明					
② 人件費	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	
正規職員の人数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	
③ 合計コスト(①+②)	7,363,267	6,795,247	6,841,514	9,432,000	
前年度比		92.3%	100.7%	137.9%	
財源内訳	2,473,267	2,401,247	2,400,514	2,404,000	
一般財源	2,473,267	2,401,247	2,400,514	2,404,000	
特定財源	4,890,000	4,394,000	4,441,000	7,028,000	
* 特定財源の説明	県補助金（				
④ コストに関する補足説明					

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
住宅支援給付等特別 対策事業費県補助金	件数	1	1	1	1
	金額	4,890,000	4,394,000	4,441,000	7,028,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	4,890,000	4,394,000	4,441,000	7,028,000
	割合	98.52%	99.97%	99.99%	99.94%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課 題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること) 住宅支援給付金を支給するとともに、支援員が再就職に向けた支援を行っているが景気低迷や雇用情勢の悪化により就職することが困難な状況である
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) ハローワークや他機関と連携しながら、個々の状況に応じた就労支援を行い自立を目指す
改善 方法	
改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
----------	--------	--	---